

# 平成31年度 柿ノ木会事業計画書（案）

## 1. 法人の基本方針

多種多様な社会福祉事業が行われるなか、昭和44年に設立された当時からの理念、目的を継承しつつ、第二種社会福祉事業を実施してまいりました。

さらに昨年度には設立当時から実施してまいりました保育所の経営から幼保連携型認定こども園の経営に移行し1年が経過いたしましたが、移行時の混乱もなくスムーズに変更をすることが出来ました。

幼保連携型認定こども園のほか障害者福祉サービス事業の経営を行っており、多くの利用者の意向を尊重して総合的に多様な福祉サービスを提供がされるよう各々の事業において設立当時から継承されている創意工夫を行い、利用者個人の尊厳を保持しつつ、自立した生活を地域社会において営むように支援することを目的とし、当法人が社会福祉事業の主たる担い手としてふさわしい事業を確実、効果的かつ適正に行うため、自主的にその経営基盤の強化に努めるとともに、その提供する福祉サービスの質の向上並びに事業経営の透明性の確保を図り、もって地域福祉の推進を図るものとする。

## 2. 実施事業

### (1) 事業区分

第二種社会福祉事業

### (2) 拠点区分及びサービス区分

法人本部拠点区分

野中こども園拠点区分

野中こども園サービス区分

子育て支援センターのなかサービス区分

大中里こども園拠点区分

大中里こども園サービス区分

ふじさん拠点区分

就労継続支援B型サービス区分

日中一時支援事業サービス区分

## ③. 法人本部事業計画

法人本部の役割としては、理事会、評議員会の開催及び他の拠点区分及びサービス区分の連絡調整、事業実施の支援を行い、事業経営の透明性及び強化を図ることを目的とする。

平成31年度の主な事業計画として、平成32年度の地域子育て支援センター建設に向けて、具体的な設計となる実施設計の作成を行い、平成32年度建設工事入札執行の準備をすすめることと、平成30年度実施したふじさん及び野中こども園の境界測量を基に敷地内に介在する、ふじさん出入口の廃道敷及び野中こども園敷地内の国有地及び市有地の財産整理を引き続き継続してまいります。

## 平成31年度 野中こども園事業計画書

### 1. 保育方針

- 子どもの主体的な活動を大切にしています  
大人が主導するのではなく、子どもが主体となって、周囲の人・環境に関わる中で得た経験を通じて学ぶことを重視しています。
- 自己肯定感を育み、関わりを通じて社会性を育てます  
0~2歳児クラスには育児担当制を取り入れています。いつも決まった保育士が関わることで情緒の安定を図り、自己肯定感（ありのままの自分を大切にする心）を育みます。3歳以上のクラスでは異年齢交流を活発に行い、子ども同士の協働を通じて社会性を育みます。
- 多様性と変化に富んだ環境を整備しています  
広い園庭は起伏に富み、数百本の木々には、葉や実を求めてたくさんの昆虫や小動物が飛来します。敷地内を流れる水路にも水棲昆虫や小動物が生息し、子どもたちの活発な探索活動を惹き出します。
- 太陽・土・水・どろんこに親します  
季節や時間帯によって姿を変える自然環境に親しみ、知的好奇心や感性を育む保育を目指しています。特にどろんこは、遊び方に正解も不正解もなく、子どもたちが情動を開放しカタルシスを得られる活動として重視しています。
- 内発的動機付けを重視しています  
子ども自身が「面白そう」「楽しそう」「やってみたい」と感じて始まる遊びを尊重します。いつ・どこで・何を・誰と・どんなふうに遊ぶか、自分で選び、自分で決めることをできるだけ尊重しています。
- 挑戦・冒険を見守ります  
子どもにも見通しが立ち、遊びの価値を高める危険（リスク）と子どもには判り難い、遊びの価値とは無関係な危険（ハザード）を見分け、リスクはマネジメントし、ハザードは取り除いた上で、子どもたちのチャレンジを見守ります。

### 2. 定員

	2・3号	1号	合計
0歳児	15人		15人
1歳児	24人		24人
2歳児	24人		24人
3歳児	24人	3人	27人
4歳児	24人	3人	27人
5歳児	24人	3人	27人
合計	135人	9人	144人

### 3. 職員数

園長	1人	副園長	1人	主幹保育教諭	1人
常勤保育教諭	16人	パート保育教諭	6人	保育補助	1人
調理師	3人	調理補助	1人	用務員	1人
合計					31人

#### 4. 保育時間及び開園時間

- 平日 7:00~19:00 (18:00~19:00 延長保育)  
土曜日 7:00~18:00  
休園日 2・3号 … 日曜日、祝日、12/29~1/3  
1号 … 土曜日、日曜日、祝日、7/26~8/25、12/29~1/3、3/26~31

#### 5. 重点的な取り組み事項

##### (1) 働き方改革の推進

- ◇ 年次有給休暇取得率の向上
- ◇ 休憩時間の確保
- ◇ ノンコンタクトタイム（直接処遇を離れた事務時間）の確保
- ◇ 記録・計画等書式の見直し
- ◇ I C T の導入・活用

##### (2) 職員へのリテンション強化

- ◇ 園内研修の充実
  - ◆ 階層別園内研修（初任・中堅・ミドルリーダー）、パート保育者研修、わらべうた研修、絵を見る会他
- ◇ 外部研修への積極的な派遣
  - ◆ 静岡県保育連合会主催研修、静岡県保育士会主催研修、富士宮市療育支援課主催研修、子どもと保育実践研究会、日本保育学会、日本乳幼児教育学会、常葉大学保育学部、全国私立保育園連盟、日本保育協会、富士保健所、名古屋コダーイセンター、他園見学等
- ◇ メンター制度の継続
- ◇ ミドル・リーダー育成の強化

##### (3) 子育て世代の市民・保育士志望者へのPR手法の見直し

- ◇ H P・S N S の活用
- ◇ 子育て支援センターの活性化
- ◇ 見学対応・実習指導の充実

##### (4) 県内養成校との連携強化

- ◇ 研究への協力
- ◇ 積極的な情報発信と実践提案等への協力
- ◇ 実習指導の充実

##### (5) 地域・行政との連携強化

- ◇ 子育て支援センターの活性化
- ◇ 富士宮市子ども・子育て会議での提言

#### 6. 整備事業

- のなか丸園舎・断熱及び空調設備の新設
- のなか丸園舎・洗面所修理及び増設

## 大中里こども園

### 平成 31 年度 事 業 計 画

乳幼児が生涯にわたる人間形成の基礎を培う重要な時期に、その生活時間の大半を過ごす所であることを強く自覚して、大中里こども園の園則に掲げる目的及び運営の方針に基づいて、その子どもが現在を最も良く生き、望ましい未来を作り出す力の基礎を培うことを目指して保育・教育を行う。

制度が変わりまた 30 年度からこども園に移行するにあたって入所数を増やしたことによる定員不足が生じた。そういうことへの対応に職員一同協力して節約に努め、厳しい財政基盤の安定を図りながら、遊戯室の建設など新しい風を取り入れて事業の展開に努める。

平成 31 年度の事業計画は次の通りである。

#### 1 「ごきげんな子に育つ」 大中里こども園児の育成に努める。

- ・ 「大中里こども園 教育課程の保育・教育理念また教育及び保育・教育の基本及び目標」に基づいて、各発達段階を基に保育計画を定めて実践、評価を継続する。
- ・ 子どもたち一人一人の発達をしっかりと見守り、尊重し、保護者の安心と信頼を得る。
- ・ 職員の輪を大切にし、各々資質向上に努め、プロとしての職員集団を常に目指す。

#### 2 豊かな保育環境で育てる

- ・ 大人たちがなすべきことで、「育児」や「保育・教育」や「子育て支援」で一番大切なことは何か？子どものエネルギーが全開できる豊かな環境を用意することである。  
どろんこ！水！太陽！大自然！『大地保育環境論』は何よりも大切な保育・教育環境であり、基本的な体験学習を飛び越えて文字や数字やバーチャルで教育しても砂上の楼閣である。脳の神経回路の形成はそのような飛躍したやり方を受け付けない。そこで私たちは豊かな保育・教育環境を作り保育・教育することを目指す。

#### 3 地域及び関係機関との連携を強化する

- ・ 地域との交流を深め、時代の流れに即した地域福祉への貢献を図る。
- ・ 県・市・保健センターなどほかの施設との連携を図る。

#### 4 財政基盤の強化を図る

- ・ 組織運営の基本は、財政基盤が強固でなければならないので、経営的にバランスシートを考え、赤字を出さない。
- ・ 職員においても保育・教育内容を損なわない、子ども最優先の節約体質を作る。

## 5 遊戯室及び支援業務室の建設計画

- ・30年度認定こども園スタートに合わせて子育て支援業務の充実と遊戯室確保のために前段階として設計のための入札が終わり、  
今年度は建設工事の予算措置を行い、工事業者の入札など建設が順調にいくよう行つていきたい。

## 6 保育時間について

- ・1日の保育時間 AM7：00～PM19：00（開園時間 12時間）
- ・おはよう保育 AM7：00～AM8：30  
子どもの早朝の生活と遊びを保証する保育時間。家族の方も安心
- ・ごきげん保育 AM8：30～17：30  
友達とのかかわりやクラス活動を中心の遊びと生活のご機嫌な保育時間
- ・こんばんは保育 PM17：30～PM19：00  
あたたかい家庭的な雰囲気を心がけ、家庭でくつろいでいるような“ぬくもりのある保育”また“信頼と優しさの思いのこもった挨拶、こんばんはの声を掛け合う保育の時間  
特に延長保育時間はきめ細かく（特にけがのないよう）対応できるよう心掛ける。  
職員配置についても各クラス複数担任体制にし、お互いに助け合いことと 刺激し合うことでより豊かな保育・教育内容を目指す。

## 7. 職員の確保

- ・退職による職員の補充を行い、教育・保育が安全にまたさらに充実していくよう努力していく。（療育手帳・気になる子への対応も手厚くできるよう職員の配置を考えたい）

## 8. 保育・教育の内容について

- ① 保健衛生、安全に配慮し、心身の発達など【個人差に即した保育・教育】
- ② 情緒の安定を図り、五感や肉体を十分使って【楽しく過ごす遊びと生活の保育・教育】
- ③ 主体的に活動できる保育環境の中で、興味・関心・好奇心を伸ばし、豊かな刺激を受けながら、探索・試行錯誤・名のない遊びなど【十分に自己実現する保育・教育】
- ④ 【保護者との連携の中で】園児一人ひとりの生活リズムを尊重し、丁寧にかかわり、家庭的な親しみと、くつろげる生活の中で【生活習慣を身につけていく保育・教育】
- ⑤ あこがれや、模倣、思いやりの対象となる【異年齢児とのかかわりを持つ保育・教育】
- ⑥ 【地域とのかかわりの中で】多世代の人々や外国の人々などの【多様な生活や異文化に触れ、生活経験を豊かに広げていく保育・教育】